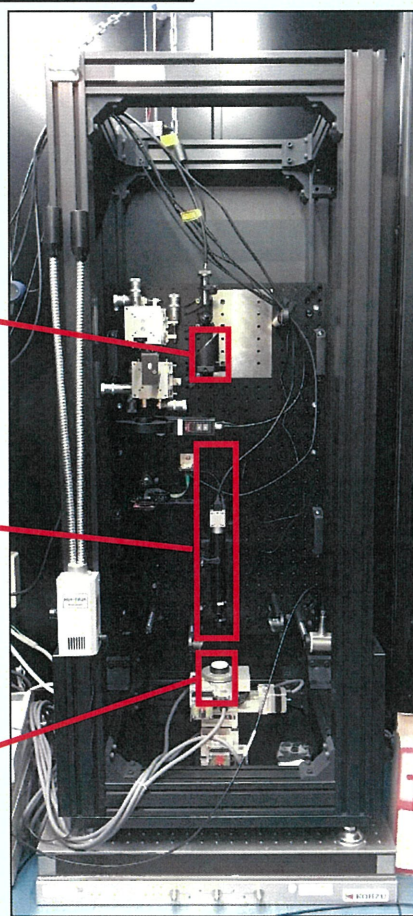
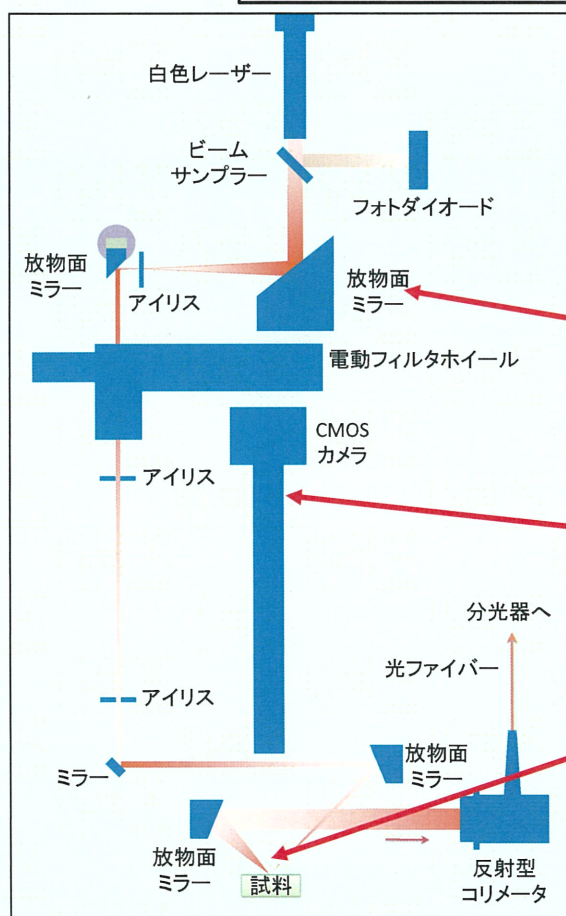


非球面ミラー光学系を用いた可視・近赤外分光法

- レンズ光学系であっても色収差ゼロ
- 広大なワーキングディスタンスで、様々な態様の試料を分析可能
- 十分な空間分解能で回折限界に迫る局所分析が可能

キーワード：反射分光分析、非球面ミラー、白色レーザー

放物面ミラー光学系反射分光装置



白色レーザー光源を用いたミラー光学系で反射分光分析が可能になる。

複数の光学系を組み合わせることで、**反射だけでなく透過も可能になる。**

ミラー研磨の精度を高めれば回折限界に迫る究極の分光装置になる。

色収差ゼロ

数センチものワーキングディスタンスを確保
試料形状を選ばない。

技術のステージ



応用研究

関連業種

医療業、学術・開発研究機関

利用分野

- ・材料・医薬・化粧品などの検査
- ・基礎科学分野での化学形の評価

知財・関連技術情報

特開2021-051074

技術の詳細

